

みなさんこんにちは！アトリエ イマジンです。

2016年 3月号



3月21日は春分の日。昼と夜の長さが同じになり、翌日から昼の時間が長くなります。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるのも、この日から本格的な春となり、暖かな陽気になるだろう、というのが理由です。暖かな日差しももうすぐですね！それでは今月もよろしくお祈いします！

ワタナベ@イマジンの大きなひと一言・・・

皆様こんにちは、アトリエイマジンのわたなべです。3月になりましたがまだ雪模様の天気が続いていますね。なごり雪にしては降りすぎです。春が待ち遠しいですね。

さて、先日は当社の業者新年会を開催いたしました。少し遅い新年会ですが、工事にかかわる全業者での新年会です。

今年はただお酒を飲むのではなく、懇親会前に研修会を開催しました。普段は現場で体を動かしている職人さんにとっては机に座るのは苦痛でしょうが・・・我慢していただきました。

研修の内容は、講師をお迎えして「お客様の夢を形にする仕事 地域の人々に支持される工務店とは」と題しまして講師に株式会社アイン企画 小林伸太郎氏をお呼びいたしました。この方は書店に並んでいる「やまがたの家づくり」という本を出版している編集者の方です。県内数多くの工務店を取材しておりまして、さまざまな事例を紹介していただき参加した職人さんも改めての気づきがありました。

最近では法整備や消費税なども話題になり住宅の需要が高まっておりますが今一度原点に立ち返り、当社の職人だけでなく、工事にかかわる全職人さんと一緒に「チームイマジン」として家づくりに邁進してまいります。

春になり雪が解けだしたらお待たせしているお客様の工事が一斉に始まります。地域の人々に支持される工務店となるように頑張っていきます。

今月もよろしくお祈いいたします。



家づくりの豆知識。

-場所の呼び名-

今回は暮らし方を考えるきっかけのひとつとして、場所の呼び名を取り上げたいと思います。

住まいの中の場所には、聞き慣れた呼び名が付けられています。

その多くは、行われる事を示すもの（例：食堂・便所・寝室…）や誰の場所かを示すもの（例：子供室・主寝室・客間…）、状況や仕様を示すもの（例：和室6帖・サンルーム・屋根裏…）など直接的な記号としての呼び名です。最近は、あえて目的や使い手を限定しない場所の表現として、スペース1・2・3や室1・2・3なども見られます。

しかし中には、住み手の暮らし方を伝えるイメージを持ったものや、組み合わせることによって、雰囲気や伝わる呼び名もあります。計画の初期に、この家・この場所で誰とどうしたいのかを考え、そこに相応しい呼び名を考えてみることはお勧めです。

例えば、家族で一緒に過ごしたい場所。そこでは、それぞれに寛ぎ、しかし家事や料理にも力を合わせ、一緒に飲食を楽しみ、そしてお客も招き入れる。そこは……リビングキッチン？

例えば、夫婦の寝るところ。そこでは、お互いにゆっくり眠れ、身支度もしっかり、さらに寛いだひとときも楽しむ。そこは……リビングベッドルーム？

こうした作業は、自分の望む暮らし方やそのイメージ整理するひとつのきっかけになるのではないのでしょうか。



気の利いた呼び名である必要はなく、本当にピッタリのネーミングでなくてもかまいません。具体的な暮らし方を言葉にし、呼び名を考える過程こそが大切なのです。

住まいづくりを考え始めた皆様、ぜひ一度おためしになりませんか？

知っておきたい家相学・風水学 ～トイレの風水あれこれ③～

今回もトイレに関する風水の小ネタをご紹介します！水を頻りに流すトイレは、「気を流す」とも言われ、風水ではよくない場所です。昔から「トイレを磨くときれいになれる」と言われているように、清潔に保てば、悪い気の影響を防ぐことができます。そんなトイレの風水を位置別でご紹介します。

<トイレが南にある場合>

南のトイレは金運には凶です。また、南は大量の水と相性がよくないので大量に水を使うトイレはよくありません。

インテリアは、全体的に涼しげなイメージを演出することが大事です。白、グリーン、ブルーなどの寒色系の色でそろえてください。アイボリーやベージュの淡いトーンもダメージを緩和させてくれます。



どおでもいい雑学の時間

-生きた化石を食べて春を感じよう! ?-

別れと新しい出会い、一人一人のそれを演出してくれる木々花々…今年もこの季節がやってきましたね。そんな春の訪れを知らせてくれるメンバーの一人「ツクシ」、3月～5月頃にかけて、全国でそれぞれの春の到来を知らせてくれます。

ツクシはシダ類トクサ科の「スギナ」の孢子茎。トクサは今から約5億年も前の古代からすでに地球上に存在していたそうです。その親戚であるツクシは、言わば生きた化石の様なもの。英語では「Horsetail」と呼ばれています。日本語の「土筆」といい、英語の「馬の尻尾（しっぽ）」といい、まさにツクシの特徴をとらえた表現になっていますね。

「土筆」は和歌の世界でも季語として扱われ、現在も人工栽培はおそらくされていないので、まさに自然の中の春だけに楽しめる季節感あふれる食材の一つです。あの孢子のほろ苦さと茎の歯ざわりは最高ですよ。お子様はちょっと苦手かな! ?

ツクシと出会える場所として、一般的には川の土手や田畑のあぜ道が知られていますが、肥料のよく効いた休耕畑の方が、太くて長いツクシが沢山生えてくるようです。翌年の収穫を狙うなら、秋頃までに「スギナ」が茂っているポイントを探しておきましょう。地下茎でつながっているので、春には陽気につられて顔を出したツクシ達に出会えるはず。

狙い目は、雨の降った日の翌日の夕方頃。なんと雨の後には一日で5cmも伸びることもあるんですって。でも早く収穫しないと、その脅威の成長スピードで、頭から一気に孢子を放出し枯れてしまいます。せっちな春のお知らせ隊さんですね(笑) 視線を低く辺りを見回しながらゆっくり採り進んでいき、数メートル進んだら、後ろを振り返ってみてください。気付いていなかったツクシ達を発見できるはず。



食べる前の下ごしらえの「ハカマ取り」は地道な作業で、爪にアクがこびりついたりちょっと大変ですが、家族総出で悪戦苦闘した後のツクシ料理は美味しさもひとしおなのは! ?今年の春はみなさんもぜひ家族でツクシ採りに出かけて春をカラダいっぱい感じてみてはいかがでしょうか♪ではでは。

今月のいろんなグッズ紹介!

リアライズ シンブクリップ

今回ご紹介するのは新聞を読む方にはぜひおすすめのグッズです。

『シンブクリップ』と言って、新聞の折り目差し込むだけで、縦にも横にもズレません。気持ちよく新聞を読むことができます!

使い方はあっという間で簡単。白いカバーが外側になるように、新聞の折り目の真ん中にスッと差し込むだけです。家でも、電車でも、新聞がばらけてイライラすることがありません。バネが効いていて新聞を挟み込む力が働く構造なので薄い夕刊でもしっかりまとまります(差し込み容量:新聞紙8面~56面)。値段も300円以下でカラーはシンプルな白・黒からオレンジ・グリーン・ピンクなど可愛いものまで揃っています。



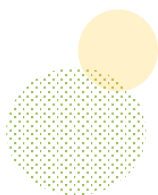


もちもち感が人気のチーズパン。本場ブラジルではキャッサバ粉（タピオカ）を使いますが、白玉粉でも美味しく作れます。



食材・調味料（4人分）

白玉粉：150g
 牛乳：3/4カップ
 塩：小さじ1/4
 オリーブ油：大さじ1
 卵黄：1コ
 粉チーズ：80g
 サラミ：20g
 粗挽きこしょう：適量



作り方

- ① ボウルに白玉粉と塩を入れ、牛乳を少しずつ加えて混ぜる。なじんできたら、オリーブ油・卵黄・粉チーズを加えてさらに混ぜる。
- ② 生地を半量ずつに分ける。片方にサラミのみじん切り・こしょうを加えて混ぜ、ひと口大に手で丸める。もう片方の生地は、そのまま丸める。
- ③ 天板にクッキングシートをしいて(2)を並べ、180度に予熱したオーブンで15分程焼く。うっすらと焼き色がつけば完成。冷めても美味しくいただけます。

※1人3コずつ×2種として、6コ分くらいの量になります。

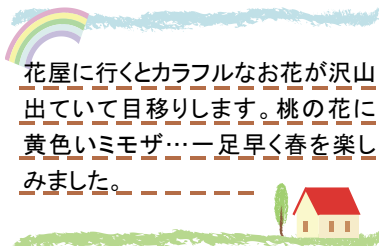
なんか心にしみるいい言葉

『この世を動かす力は希望である。
 やがて成長して果実が得られるという希望がなければ、農夫は畑に種をまかない。』
 ～M.ルター～



M.ルター

マルティン・ルター（Martin Luther、1483年11月10日 - 1546年2月18日）は、宗教改革の創始者。「人の姿となられた神の言葉としてのイエス・キリストにのみ従う」ことによって、信仰と思想において宗教改革という転換をもたらした人物。



花屋に行くとカラフルなお花が沢山出ていて目移りします。桃の花に黄色いミモザ…一足早く春を楽しみました。



有限会社 アトリエ イマジン

〒997-0117 山形県鶴岡市大宝寺字中野 142-7
 TEL 0235-25-5508 FAX 0235-25-5509
 フリーダイヤル 0120-910-348
 URL <http://www.atelier-imagine.jp/>